

《担当者名》准教授/大澤 宜明

教授/柳川 芳毅 教授/小林 健一 教授/前田 直良 准教授/山田 康司 講師/土田 史郎 講師/鹿内 浩樹 講師  
/佐々木 隆浩 講師/久保 儀忠 講師/山口 由基 助教/鈴木 桃子  
外部講師/社会福祉法人ゆうゆう 中内 聡

### 【概要】

福祉施設等における体験学習を通じて、医療人としての素養を養成することをねらいとする。近年の医療社会は大きく変貌し、薬剤師は医療人として今まで以上に社会とのかかわりが大きくなった。とくに福祉や地域社会における薬剤師の役割が非常に重要なものとなってきている。本演習では、薬剤師の医療・福祉施設などにおける活動を理解するために、講義だけではなく、現場における集中的な体験学習を通じて、地域社会における薬剤師の役割とその将来性について総合的に学ぶ。

本年度は、「社会福祉法人ゆうゆう」における福祉活動体験学習を軸として、ワークショップを通じた事前学習、報告発表会を通じた事後学習を含めた一連の授業を通じて、医療・福祉にかかわる知識のみならず、チームワーク、コミュニケーション、プレゼンテーション能力などを総合的に学修する。

### 【学修目標】

自らが問題発見/解決に向けて、自発的に学習する態度と能力を醸成するとともに、障がいを持つ人等との触れ合いを通して、医療人としての適切なコミュニケーション能力を身につける。

グループ学習を通じて、強調して課題を解決していく能力を身につける。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	体験学修に向けての具体的な内容を概説できる。	学内担当者全員
2	福祉施設の活動内容	福祉の現状と課題、実習施設を概説できる。	学内担当者全員、 中内 聡
3 ） 4	事前学修	グループワークを通じて、福祉施設における体験学修での問題点を挙げる。	学内担当者全員、 中内 聡
5 ） 8	福祉施設体験学修1 *体験に参加しない班は、別途課題学修を行う。	福祉施設において、実際に体験したことを説明できる。	学内担当者全員、 中内 聡
9 ） 12	福祉施設体験学修2 *体験に参加しない班は、別途課題学修を行う。	福祉施設において、実際に体験したことを説明できる。	学内担当者全員、 中内 聡
13 ） 15	事後学修	グループ毎に施設で体験学修した内容を纏め、当初の計画と照らし合わせて説明できる。	学内担当者全員

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

取組み態度(25%)、体験学修の評価(30%)、最終レポート(45%)

### 【備考】

その他：適宜プリント配布

### 【学修の準備】

- 福祉施設における実習がメインであるので、実習先での注意事項等を事前に熟慮する。(60分)
- 薬学生が福祉施設で実習することの意味について、自分なりの考えを纏めておく。(60分)

### 【関連するモデルコア・カリキュラム】

F 薬学臨床

(4) チーム医療への参画 【 地域におけるチーム医療】 1~4

【薬学部ディプロマ・ポリシー】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。
3. 他職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域的及び国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。